

令和3年度成果報告 教育委員会総括

1. 学校教育関係

町内小中学校の学習環境を一層充実するため、国・県の学級編制基準に対し町として、1学年30人以上35人以下の学級について町費講師配置により2クラス編制を実施した。また、特別支援教育の充実のため、特別支援員を小学校に6名を配置した。

6月に千葉県で発生した交通事故を受け、町内通学路について関係機関による合同点検を実施し、点検結果をもとに安全対策検討会を開催した。

2. 子どもすくすく関係

令和4年4月の「認定こども園」開設に向け、議会、地域、保護者との協議を進めた。こども園の運営に関する具体的な方針を定めるため、令和2年度に設置した認定こども園移行準備会で協議を重ねた。また、3園交流会の実施やこども園本園となる読書保育園の改修工事にも取り組み、4月の開園に向けて環境を整えた。

放課後子ども教室についても、新型コロナウイルス感染症対策に十分留意する中で運営を行い、可能な限りの開設に努めた。

3. 生涯学習・公民館活動関係

新型コロナウイルス感染症の影響により、公民館活動はほぼ実施できない状況となってしまったが、チャレンジクラブとの連携により、生涯スポーツ活動やサークル活動等については、感染予防対策を取る中でできる活動を行った。

成人式についても、新型コロナウイルスの状況を考慮し1月の開催とし、当日は、検査キットによる感染確認やオンライン参加の準備をするなどして、無事に開催することができた。

また、平成26年から建設の準備を進めてきた妻籠町並み交流センター（妻籠分館）を、令和4年3月に竣工することができた。

4. 文化財・保存事業関係

妻籠宿重伝建事業の見直しについて、住民説明会を開催するとともに、町議会全員協議会でも協議を進め、個人負担割合の引き上げと町補助金の支出ルール（一般会計からの直接補助）について方針を定めることができた。また、令和2年度に設置した史跡中山道保存活用計画策定委員会での協議により、保存活用計画の原案となる素案を作成することができた。

博物館運営については、入館前の消毒・検温を行い、公開範囲も制限するなどして新型コロナウイルス感染症対策を徹底する中で、可能な限りの公開に努めた。

【評価】

3年度の教育委員会関係事業については、概ね計画どおりに進めることができたが、一部事業については、様々な事情により次年度への繰越となってしまった。

また、2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた年となった。小中学校における新型コロナウイルス集団感染による学級閉鎖や臨時休校をはじめ、各種事業や行事は開催中止や見直し作業に追われた。各係とも感染予防対策を取るとともに、国の地方創生臨時交付金事業を活用するなどして、施設等の安全確保の取り組みを進めた。

このような状況の中、長年の懸案であった子どもたちの集団化を図る保育・教育のあり方が、「なぎそこども園」という形で令和4年度にスタートする体制が整ったことは大きな成果であった。

9 教育委員会所管

1. 教育委員会関係

(1) 教育委員会関係

① 委員等

教育長 伊藤信男

教育委員 勝野 忠、小原貞幸、矢澤純子、深谷秀次

② 定例会 (12回開催 議案件数19件 承認件数19件、提出日及び議案を記載)

- ・ 4月27日 「南木曾町博物館協議会委員の任命について」
「南木曾町文化財保護審議会委員の任命について」
「妻籠宿保存地区保存審議会委員の委嘱について」
「保育所審議会委員の委嘱について」
「県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について」
- ・ 5月18日 「南木曾町社会教育委員・公民館運営審議会委員の委嘱について」
- ・ 6月25日 「要保護・準要保護児童生徒の認定について」
- ・ 8月27日 「南木曾町特別支援教育就学奨励費支給要綱の制定について」
- ・ 10月27日 「南木曾町いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について」
- ・ 11月25日 「南木曾町認定こども園設置条例の制定について」
「南木曾町認定こども園の管理及び運営に関する規則の制定について」
「南木曾町保育等利用者負担額徴収規則の制定について」
「南木曾町一時的保育事業実施要綱の制定について」
- ・ 1月27日 「南木曾町子ども・子育て会議委員の委嘱について」
- ・ 2月24日 「要保護・準要保護児童生徒の認定について」
「妻籠町並み交流センターの設置及び管理運営に関する条例の制定について」
「妻籠町並み交流センター管理運営規則の制定について」
「南木曾町地域社会教育施設の設置及び管理運営に関する条例の一部改正について」
「南木曾町公民館長の任命について」

(他の開催日 7月25日、9月27日、12月16日、3月10日)

(2) 総合教育会議

- ・ 2月28日 町長主催で町長と教育委員会が教育問題等について話し合う総合教育会議を開催した。
「南木曾町の教育行政について」
「認定こども園の開園、幼児教育について」

(3) 研修等

- ・ 関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会 書面決議
- ・ 長野県市町村教育委員会研修総会 オンライン
- ・ 木曾郡町村教育委員会連絡協議会総会 書面決議

(4) 教育相談関係

- ・教育相談／相談件数実績（面談・電話等） 年間 13件
相談員 勝野 忠氏（平成30年4月 就任）

(5) いじめ対策委員会

- ・南木曾町いじめ問題対策連絡協議会開催 11月24日
- ・小中学校においては対策委員会を設置している。日常の児童生徒観察を大切にし、気にかかる点はすぐに報告・連絡・相談をするとともに、毎回の職員会で情報交換を行っている。また、「生活アンケート」を取り、児童生徒の様子の把握に努めている。
- ・町では、具体的かつ実効のないいじめ問題への取り組みについて、「いじめ防止等のための基本的な方針」を平成29年3月に定めたものを、県の改正にあわせ平成30年8月に見直した。

(6) 南木曾町教育委員会 後援事業

- ・犀の角&百景社 藤村プロジェクト2021-22 9月17日～9月19日 上田市
「夜明け前 第一部」
- ・第35回町民展 10月30日～11月3日 南木曾会館
- ・木曾文化公園アウトリーチ事業 1月16日 南木曾会館
「クラウンキャラバン」
- ・子供と家族の未来を考えるマネー講座 2月25日～5月31日 オンライン

2. 学校教育関係

(1) 学級編制、児童・生徒数等

①南木曾小学校

児童188名 教職員33名 普通学級 8 特別学級 4 詳細は別紙参照

②南木曾中学校

生徒 103名 教職員23名 普通学級 5 特別学級 2 詳細は別紙参照

③特別支援教育

- ・南木曾小学校 自閉症・情緒障害学級（対象18名） 知的障害学級（対象3名）
LD等通級教室（利用児童6名）
- ・南木曾中学校 自閉症・情緒障害学級（対象6名） 知的障害学級（対象1名）
LD等通級教室（木曾町中学校）を利用（生徒3名）

④その他

- ・南木曾小学校 町費講師2名、特別教育支援員6名、嘱託図書館司書1名を配置
- ・南木曾中学校 町費講師1名、非常勤講師2名、嘱託図書館司書1名を配置

(2) 通学対策

① スクールバス通学

町が運行する南木曾町新交通システムの中で対応した。

○南木曾小学校 対象児童数137名 南木曾中学校 対象生徒数30名

・小学校 5系統

登校・下校【保神】 保神⇔妻籠⇔南木曾小

登校・下校【田立①】 田立駅⇔灯籠前⇔南木曾小

登校・下校【田立②】 田立駅⇔渡島・神戸⇔南木曾小

登校【北部】岩倉橋→南木曾小 下校【北部】読書保育園→南木曾小→岩倉橋

登校・下校【与川】 向田⇔南木曾小

・中学校 3系統

登校・下校【保神】 保神⇔南木曾中

登校【北部】岩倉橋→南木曾中 下校【北部与川】 南木曾中→岩倉橋→向田

登校【与川】 向田→南木曾中

② スクールバス特発

○南木曾小学校 1,781千円（校外活動、プール開放等）

○南木曾中学校 5,839千円（部活、郊外活動等）

③ 電車通学（JR定期券購入助成）

・南木曾中学校田立地区生徒は電車通学とし、定期代を全額補助

・対象生徒数27名 817千円

④ 通学路における交通安全対策について

・小中学校の保護者から「通学路安全対策に関する要望・意見について」情報収集

9月29日 小学校通学路の合同点検を実施

教育委員会事務局・建設環境課建設係・小学校

飯田国道事務所・木曾建設事務所・木曾警察署

10月28日 合同点検に係る安全対策検討会

(3) 防犯、安全関係

① 携帯PCメールによる一斉配信

○きずなネットの利用 学校から保護者・職員への緊急連絡体制

・配信件数 小学校78件、中学校81件

・内容 行事予定関係、熊目撃情報、コロナ対策関係 等

② 休校措置関係

○小中学校臨時休校 5日

・コロナ対策 4日（1月20日～24日）

・大雨 1日（5月21日）

③ 出席停止・学級閉鎖等関係

○コロナウイルス感染に伴う措置

・小学校 出席停止 31名 学級閉鎖 0件 学年閉鎖 2件

- ・中学校 出席停止 29名 学級閉鎖 0件 学年閉鎖 2件
- インフルエンザ感染に伴う措置（該当なし）
- インフルエンザ以外の感染症に伴う措置
 - ・小学校 出席停止 1名（中学校は該当なし）

（４）国際化・交流関係

①ALT（外国語指導助手）

- ・委託先 名古屋市（株）アルティアセントラル
- ・委託期間及び契約額 令和3年4月1日～令和4年3月31日 5,390千円
- ・派遣英語指導助手 ジェイク・ライリー（イギリス）
- ・委託内容 南木曾小中学校での英語指導、社会人英会話教室講師

②名城大学との学習連携

- ・中学3年生を対象とした大学生有志による学習支援を実施（オンライン）

（５）就学援助費

- ・学校、民生児童委員と連絡をとりながら援助を行った。

《要保護、準要保護児童生徒援助費の推移》

単位：人、世帯、千円

年度	小学校			中学校			計		
	対象児童数	家庭数	金額	対象生徒数	家庭数	金額	対象児童生徒数	家庭数	金額
29	1	1	78	5	4	758	6	5	836
30	5(1)	4	478	3(1)	3(1)	386	9	5	864
元	5	4	431	4(2)	4(1)	635	9	6	1,066
2	6	4	499	4(2)	4(2)	573	10	7	1,072
3	3	3	224	5(1)	5(1)	603	8	7	827

※（ ）内は入学準備費認定者の外数〔小学校は来入児、中学校は小6年生〕

(6) 学校給食

学校給食については、自校方式によりこれまでどおり運営した。安全安心な学校給食を目指して、引き続き衛生管理に十分配慮した調理の実施を図ってきた。食生活指導では、栄養士を中心に積極的に取り組んだ。給食調理従事者については、県及び郡の研修会がコロナ対策としてリモートや出席者数を制限する等での実施となったため、参加した栄養士・職員がその内容を伝える等で衛生管理意識の向上を図った。

給食を通じて食文化や環境問題、地域の農業への関心を高める目的で、木曾南部産コシヒカリを使用した米飯給食、地元産の野菜使用についても関係者と協力して積極的に取り組んだ。また、町制60周年記念事業として、お祝い給食（信州サーモン）を提供した。

(7) セカンドブック・サードブック事業

読書を通して文字に親しんだり豊かな心を育むことを目的に、図書選定委員が選定した図書を小学校入学と中学校卒業の記念に町から贈呈した。

- ・セカンドブック 対象児童 小学校1年生19名 選定図書18冊から1冊を選択
- ・サードブック 対象生徒 中学校3年生29名 選定図書30冊から1冊を選択

(8) 学校教育関係の会議等

- ・教育委員と町内学校長・教頭との会議 随時
- ・町内学校長・教頭連絡会 6回
- ・郡町村教育委員連絡協議会 8回
- ・県主幹指導主事学校訪問（南木曾中学校・南木曾小学校） 5月20日
- ・学校、教育委員会と民生児童委員、人権擁護委員、保護司との懇談会
(コロナ感染症対策により中止)
- ・議会総務文教委員・教育委員・学校長・教頭合同会議 南木曾会館 11月10日
- ・就学相談・支援会議（個別） 6回
- ・母子保健連絡会 4回
- ・保小連絡会 3回
- ・小中連絡会 2回
- ・保小中高連携教育連絡会 コロナ感染症対策により中止
- ・南木曾中学校「スポーツ文化活動支援連絡会」 1回

(9) 学校関係負担金、補助金等

単位：千円

支出先	補助金	備考
長野県中学校体育連盟負担金	20	県・郡関係学校負担金
木曾郡町村会負担金	242	〃
学校保健会負担金	14	
中信地区私立学校補助金	180	5校9名

英語検定等検定料補助金	256	英語35名、数学11名、漢字31名
移動音楽教室鑑賞費補助金	0	事業中止(コロナ感染症対策)
地元産食材利用補助金	1,881	
木曾郡中間教室負担金	882	

(10) 新型コロナウイルス対策関係

① 地方創生臨時交付金事業

- ・ 小中学校遠隔授業支援事業 (大型電子黒板購入: 13台) 7,150千円

② 学校行事広域ケーブルテレビ番組放送事業

- ・ 小学校 運動会 5月22日 (放送日: 6月10日~16日) 271千円
- ・ 中学校 総合発表会 10月1日・2日 (放送日: 11月11日~17日) 360千円

(11) 高校に関すること

① 蘇南高校に関する会議等

- 7月20日 第1回蘇南高校評議員会
- 12月6日 地元市町村協議会
- 12月10日 総合研究発表会
- 2月 第2回蘇南高校評議員会 (書面会議)

② 蘇南高校支援に関すること (同窓会事業への助成)

- ・ PR用チラシ等作成に係る助成 120千円
- ・ 海外語学研修に対する助成 241千円
オンライン海外研修 (途上国体験プログラム・国際交流プログラム)
2学年14名参加
- ・ 蘇南アカデミーに対する助成 237千円
進学を希望する生徒を対象とした補習授業の報酬等
- ・ 郡外からの入学希望者に対する下宿所の借用等経費及び管理人に対する助成
3,320千円 (10人)

③ 緑誠蘭高校関係

- ・ 緑誠蘭高校が行う地域学習に対し、関係団体との連絡調整など協力支援を行った。

令和3年度 児童・生徒数、教職員数 (令和3年5月1日現在)

学年	学校	南木曾小学校				南木曾中学校			
		男	女	計	学級数	男	女	計	学級数
令和3年度 児童・生徒数	1学年	13	6	19	1	(2) 16	(2) 13	(2) 29	2(1)
	2学年	(3) 13	(1) 12	(4) 25	1	(2) 23	(2) 16	(4) 39	2
	3学年	(1) 14	(1) 15	(1) 29	1	(1) 12	(1) 16	(1) 28	1
	4学年	(5) 12	(1) 11	(6) 23	1	/			
	5学年	(3) 21	(1) 11	(4) 32	2(1)				
	6学年	(5) 15	(1) 24	(6) 39	2				
	合計	(17) 88 105	(4) 79 83	(21) 167 188	(特 4) (普 7) 普 8	(5) 51 56	(2) 45 47	(7) 96 103	(特 2) (普 4) 普 5
令和3年度 教職員数	教員職員	校長・教頭	2	0	2	2	0	2	
		教諭	5	6	11	7	1	8	
		養護教諭 *助教諭含	0	1	1	0	2	2	
		講師	2	4	6	0	3	3	
		栄養士	0	1	1	0	1	1	
		県事務	1	0	1	0	1	1	
		町事務(司書)	0	1	1	0	1	1	
		用務員	0	1	1	1	0	1	
		給食調理師	0	4	4	0	3	3	
		特別支援員	2	3	5	0	0	0	
		ALT	0	0	0	1	0	1	
		合計	12	21	33	11	12	23	
	内訳	県	9	9	18	9	6	15	
町			(栄養士)1 (給食)1	2		(給食)1	1		
町会計年度 任用		(常勤講師)1	(常勤講師)1 (非常勤講師)1 (用務員)1 (給食)3 (司書)1	13	(用務員)1	(非常勤講師)2 (給食)2 (司書)1	6		
町委託		(特別支援員)2	(特別支援員)3	0	(ALT)1		1		
所在地		読書3757-2				読書2942-2			
校長		松井 聡				上田 宏志			
教頭		牛澤 栄二				松村 正彦			
電話	事務室	(0264)57-2004				(0264)57-2043			
	校長室	(0264)57-2349				(0264)57-2350			
	給食室	(0264)57-2056				(0264)57-2262			
ファックス		(0264)57-2005				(0264)57-4125			

- (注) 1.南木曾小学校講師は、県費非常勤講師1名、町費講師2名である。
 2.南木曾中学校講師は、県費講師1名、町費講師1名、町費非常勤講師2名である。
 3.学級数は、普は普通学級、特は特別支援学級、()内は県基準による学級数。
 4.児童生徒数上段の()数字は、特別支援学級児童生徒の外数。
 5.内訳の県・町には、常勤・非常勤の講師を含む。

[別表]

令和3年度総務学校関係主な建設事業

設計監理業務関係

事業名	事業箇所	事業量	事業費	左の財源内容				備考
				左の財源内容				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
南木曾小中学校情報通信ネットワーク環境施設整備工事設計監理業務	小中学校	一式	935				935	繰越事業 R2→R3
南木曾小中学校空調設備整備工事設計監理業務	小中学校	一式	495				495	繰越事業 R2→R3
南木曾小学校駐車場整備工事設計監理業務	小学校	一式	1,200				1,200	繰越事業 R3→R4
合計			2,630				2,630	

単位：千円

工事関係

事業名	事業箇所	事業量	事業費	左の財源内容				備考
				左の財源内容				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
南木曾小中学校情報通信ネットワーク環境施設整備工事	小中学校	一式	17,050	15,321			1,729	繰越事業 R2→R3
南木曾小中学校空調設備整備工事	小中学校	一式	5,604	4,700			904	繰越事業 R2→R3
南木曾小学校駐車場整備工事	小学校	一式	30,200		30,000		200	繰越事業 R3→R4
合計			52,854	20,021	30,000		2,833	

単位：千円

3. 生涯学習・公民館活動

(1) 社会教育委員・公民館運営審議会関係

①南木曾町社会教育委員・南木曾町公民館運営審議会（委員10名全員兼務）

○会議 4回 南木曾会館
南木曾町社会教育、公民館事業実績及び事業計画について 他

②郡、県社会教育委員連絡協議会等

○木曾郡社会教育委員連絡協議会

・理事会 4月15日 南木曾会館 2名
・総会 5月21日 南木曾会館 中止 ※書面決議
・研修会 10月19日 木曾町日義「義仲館」他 2名

○中信地区社会教育委員連絡協議会

・理事会 1回 オンライン開催 清水醇理事
・総会、研修会 6月8日 長野県総合教育センター 1名
・地区別研修会 10月7日 大町市 1名

○県社会教育委員連絡協議会

・総会、講演会 6月16日 オンライン開催 2名
・県社会教育研究大会 11月29日 長野県総合教育センター 2名

③郡、県公民館運営協議会等

○木曾郡公民館運営協議会

・総会 4月9日 大桑村公民館
・役員会 3回 郡内各公民館
・館長主事等合同会議 5回 郡内各公民館
・第60回木曾郡公民館大会 11月7日 王滝村公民館
・郡公運協視察研修 2月9日 塩尻市 中止

○長野県公民館運営協議会

・館長総会、研修会 5月11日 松本市
・主事研修会、総会 5月13日 千曲市
・第69回長野県公民館大会 9月16日 オンライン開催

(2) 南木曾町公民館事業

①第35回南木曾町民展（第36回南木曾町木工造形コンクール同時開催）

10月30日～11月3日 南木曾会館
出展者179名 出展総数241点（内木工コンクール31点）
特別展：なし

※ホール前ロビーに人権コーナーを設け、「満蒙開拓団の歴史」の展示を行った。

②第45回南木曾町公民館大会 2月6日 南木曾会館 中止

テーマ 「人・心・地域・文化を育み、親しみやすい町づくり」

○伝統芸能披露 田立歌舞伎 ※令和4年度に実施する計画

③英会話教室 通年 教育委員会と共催

④なぎそサークル発表会（NPO法人なぎそチャレンジクラブと共催）

参加 7団体 9月26日 社会体育館

⑤電力会社施設見学 中止

⑥美術館・博物館めぐり 中止

⑦分館長・主事会議 5回 南木曾会館

⑧分館活動

○分館活動一般交付金 7分館 2,298,350円

○体育活動費交付金 " 941,100円

⑨会館図書室 本貸し出し冊数 1,348冊

⑩公民館報 年12回発行 413～424号 広報なぎそと合冊

No.	主な内容
413	花だより、新着本紹介
414	第30回市町村対抗駅伝大会、第16回市町村対抗小学生駅伝大会、中学校CS、お気に入りの場所(画像投稿)、花だより、新着本紹介、読後の感想
415	栄養士一押しメニュー、お気に入りの場所、花だより、新着本紹介、読後の感想
416	栄養士一押しメニュー、お気に入りの場所、花だより、令和2年度年間貸し出しベスト20、エリック・カールの世界展
417	栄養士一押しメニュー、お気に入りの場所、花だより、新着本紹介、読後の感想
418	栄養士一押しメニュー、花だより、新着本紹介
419	なぎそサークル発表会、栄養士一押しメニュー、新着本紹介、読後の感想、昔の教科書展
420	ただち花火(町制60周年記念事業)、花だより、小学校CS
421	木曾郡公民館大会、花だより、新着本紹介、読後の感想
422	与川分館記事、田立分館記事、小学校CS、新着本紹介
423	花だより、新着本紹介
424	北部分館記事、新着本紹介、読後の感想

(3) 家庭教育関係

土曜子ども教室「見えない学力をつけよう」(5～3月:年6回計画)中止
 体験活動「南木曾の文化、歴史、工作、自然を通じた活動」

(4) 青少年育成関係

①青少年育成連絡協議会

○南木曾町青少年育成連絡会

- ・南木曾町内の青少年健全育成を目的とする団体で組織
 与川分館、北部青少年育成会、三留野分館青少年育成部、妻籠分館育成部、
 蘭青少年育成会、広瀬地区子供と歩む会、田立地区子どもと歩む会

※単独で活動している団体：蘭地区・北部地区

- ・地域育成会活動への助成 補助金196千円

・啓発活動等

街頭啓発活動 7月1日 南木曾駅 中止 ※保護司会と共催

街頭啓発活動 11月1日 南木曾駅 中止

- ・育成会連絡会 6月17日 南木曾会館 6名

②青少年活性化・P T A助成事業

小中学校P T A活動を通じた青少年活動への助成

○南木曾小学校 補助金 309,800円

- ・地域体験学習（講師謝礼、材料費等）
- ・地域との連携（地区行事費補助）
- ・P T A親子教室、環境整備（レク用品、材料費等）

○南木曾中学校 補助金 207,550円

- ・講演会（講師謝礼）
- ・環境整備（花壇、土手整備に係る材料費等）
- ・P T A校外活動、会報（地区活動費等補助）

(5) 人権教育関係

①県関係

○市町村社会人権教育担当者会議 2回

②町人権教育促進事業

○人権教育講座 中止（コロナウイルス感染防止のため）

(6) 教育委員会事業関係

①令和3年度成人式 令和4年1月8日 南木曾会館

○対象者 36名（平成12年4月2日～平成13年4月1日生まれ）

- ・記念式典 規模を縮小して実施（アトラクションなし）

※令和2年度成人式 中止（再延期日[R3.8.14]大雨による避難指示発令のため）

②英会話教室 通年（公民館と共催）

③みんなのカレンダー 町ホームページ掲載

④生涯学習情報 町ホームページ掲載・全戸配布

⑤木曾文化公園自主事業への企画運営協力

○運営委員会 5回 木曾文化公園

○各種事業への協力

- ・木曾ダンスフェスタ 8月1日
- ・文化ホール改修！ 10月5日 他（ワークショップ）
- ・スマイルスクエア木曾 11月20日 他

(7) 施設関係

①南木曾会館

一般、施設修繕 1,471千円 外灯更新 等

②分館

一般、施設修繕 1,190千円 T V視聴用配線 等 ※防災対策

③地域社会教育施設 維持管理、施設修繕

維持管理体制

妻籠社会教育施設	◎校舎及び周辺 ・財団法人妻籠を愛する会に管理委託 ※清掃、草刈 ◎体育館・グラウンド ・公民館妻籠分館で管理
----------	--

蘭社会教育施設	◎グラウンド、体育館 ・町教委管理、行事等で使用 ◎夜間休日の体育館及び夜間照明 ・町教委管理、維持清掃はシルバー人材センターに委託 (※校舎等については学校教育施設)
田立社会教育施設	◎1階建旧校舎は公民館田立分館で管理 ◎2階建旧校舎、プレハブ校舎は町教委管理 ◎校舎外環境整備作業はシルバー人材センターに委託 ◎体育館、グラウンドは、町教委管理 ・田立地域振興協議会でグラウンド及び周辺の整備作業

施設修繕 693 千円

- 妻籠社会教育施設 外灯 等
- 蘭社会教育施設 高所窓ガラス 等
- 田立社会教育施設 消防設備 等

④社会教育施設利用状況

- 蘭社会教育施設について
 地域住民の方々に利活用いただいている。(ソフトバレーボール等)
 ※校舎は、学校法人山本学園と賃貸借契約を締結。(令和2年度から)
- 田立社会教育施設について
 地域住民の方々に利活用いただいている。(剣道等)
 ※旧図書室は、陶芸教室として使用。(令和2年度から)

(8) 社会教育施設における新型コロナウイルス感染症予防対策

- 休館措置及び施設使用者へ活動の自粛要請 (1月20日～3月6日)
- 新型コロナウイルス感染症予防対策についての注意喚起通知等
- 施設使用者へ施設利用者名簿作成の依頼
- アルコール消毒液及びペーパータオル等の配布及び設置

4. 生涯スポーツ事業

(1) 社会体育推進会議、団体等

- ①南木曾町体育協会 町補助金 900 千円
 - 会計監査及び三役会議 6月30日 南木曾会館
 - 第61回定期総会 7月21日 南木曾会館
 - 体育協会加盟部 (20部)
 野球部 バレーボール部 バasketボール部 卓球部 剣道部 弓道部
 陸上部 スキー部 ソフトボール部 射撃部 サッカー部 バドミントン部
 マレットゴルフ部 ゴルフ部 駅伝部
 柔道部 (休部) ソフトバレーボール部 (休部) ソフトテニス部 (休部)
 山岳部 (休部) 相撲部 (休部)
- ②木曾郡体育協会
 - 理事会 2回 4月29日・12月18日 上松町公民館
 - 令和3年度定期総会 中止 上松町公民館

(2) 総合型地域スポーツクラブ「なぎそチャレンジクラブ」関係

①会員総数 574人 (男291名、女283名)

②事業内容

- 理事会 5回 5月14日、7月13日、8月23日、11月17日、3月8日 南木曾会館他
- 通常総会 6月 書面決議
- 協議会 12月15日 南木曾町役場

③町補助金・委託料

4,188千円
 内訳 総合型スポーツクラブ補助金 2,588千円 (うち臨時交付金 88千円)
 育成部 (少年スポーツ) 委託料 1,600千円

④育成部関係

- 入団式 4月10日 南木曾中学校校庭
 - 育成部会 7月25日 南木曾会館
- 加入クラブ (少年スポーツ 12クラブ)

南木曾学童野球クラブ	南木曾ジュニアサッカークラブ
南木曾ジュニアユースサッカークラブ	南木曾小年卓球クラブ
南木曾ジュニアバドミントンクラブ	南木曾バスケットボールクラブ
南木曾ジュニアバレーボールクラブ	南木曾小年剣道クラブ
和太鼓 CLUB「和楽」	バレエスタジオ SALAN
南木曾ジュニア陸上クラブ	小学生バレーボールクラブ

⑤主なスポーツ教室等

実施内容	場所	指導者	参加者
ノルディックウォーキング教室	社会体育館	—	15回：延べ150名
太極拳	社会体育館	高橋波都音さん	4回：延べ35名
フラメンコ教室	南木曾会館	江蔦康夫さん他	37回：延べ148名
フラダンス教室	南木曾会館	—	26回：延べ191名
コアトレ&ピラティス教室	社会体育館	岡本敬弘さん	37回：延べ545名
ナイスミドル運動教室	社会体育館	岡本敬弘さん	26回：延べ155名
ヨガ (昼)	南木曾会館	宮下邦子さん	11回：延べ123名
ヨガ (夜)	南木曾会館	小幡浩美さん	20回：延べ192名
ウォーキング教室	南木曾会館	辺見元孝さん	6回：延べ48名
水中ウォーキング教室	かたらいの里	長谷川正近さん	19回：延べ163名
20～64歳 体力・運動能力テスト	社会体育館	—	7月25日：28名
65～79歳 体力・運動能力テスト	社会体育館	—	10月19日：14名
町長杯マレットゴルフ大会	桃介・貞奴マレットゴルフ場	—	10月21日：17名
ボッチャ交流会	南木曾小体育館	県体育センター専門主事	11月3日：14名
卓球交流イベント	社会体育館	スポ少指導者	12月12日：33名
バスケットボール交流イベント	社会体育館	スポ少指導者	12月19日：46名
夏休み子ども教室	南木曾小体育館	白金先生の運動	8月17日：12名

⑥その他の事業

- 健康増進ヘルスアップ事業、国保保健事業 (インターバル速歩講座)
5月～11月 8回 参加者 延べ208名
- 中学校放課後子ども教室 4月～3月 利用者 延べ298名 ※登録66名
- 健康マージャン 通年86回 参加者 延べ344名
- おさがり会 10月17日～24日 来場者 延べ81名 ※出店者含む
- 制服バンク、通学カバンリサイクル 通年

- なぎそサークル発表会 9月26日 木曾広域CATV収録
 ※南木曾町公民館と共催 参加数：8団体 延べ120名
- 長野県地域発元気づくり支援事業
- 南木曾グッド・ライフ プロジェクト「誰もが生活の中に運動習慣を！」
 6月～11月 6回 参加者 延べ118名

(3) 社会体育施設利用状況

- ①総合グラウンド（運動場） 利用回数 44回 利用者 延 1,132名
- ②社会体育館 利用回数 673回 利用者 延 8,390名
- ③学校等開放施設（旧小学校施設）
 - 旧妻籠小学校体育館・グラウンド ※R3.7月末まで
 - 旧蘭小学校体育館・グラウンド
 - 旧田立小学校体育館・グラウンド

(4) スポーツ大会・教室・行事等

- ①少年スポーツ大会
 - 南木曾学童野球南木曾大会 11月14日 40名（町内外4チーム）
 - 南木曾町少年剣道大会 12月12日 20名（町内外2クラブ）
 - 小中学生フットサル大会 12月 中 止
- ②社会人スポーツ大会等
 - 社会人野球連盟リーグ戦 6月～10月 中 止
 - 社会人ソフトボール連盟リーグ戦 8月～10月 中 止
 - 6人制チャレンジバレーボール大会 9月～11月 中 止
 - チャレンジソフトバレーボール大会 12月～2月 中 止
 - チャレンジフットサル大会 1月～3月 中 止
- ③木曾郡総合体育大会
 - 第69回木曾郡総合体育大会 6月～11月 郡内 19種目中12種目開催
- ④公民館関係
 - 地区町民運動会
 - 蘭・広瀬 9月12日 中 止
 - 与川、北部、三留野 10月10日 中 止
 - ウォーキング等
 - 田立、妻籠 10月10日 中 止
 - 分館交流ソフトバレーボール大会 2月27日 中 止
- ⑤第41回南木曾町・妻籠健康マラソン大会 中 止
 - 主催：南木曾町・妻籠健康マラソン大会実行委員会
 - 町補助金：実績なし

<参考>

前回実施 令和元年度の参加状況 参加申込者数 1,058人（うち町内127人）
 当日受付者数 928人

(5) 社会体育施設の新型コロナウイルス感染症予防対策

- 休館措置及び施設使用者へ活動の自粛要請（1月20日～3月6日）
- 新型コロナウイルス感染症予防対策についての注意喚起通知等
- 施設使用者へ施設利用者名簿作成の依頼
- アルコール消毒液及びペーパータオル等の配布及び設置

[別表]

令和3年度生涯学習関係主な建設事業及び補助事業

事業名	事業箇所	事業量	事業費	左の財源内容				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
街なみ環境整備事業関係 令和3年度街並み環境整備事業 妻籠町並み交流センター建設工事	吾妻 妻籠	建設工事 A=685.66m ²	206,415	103,200	103,200		15	工事請負費
令和3年度街並み環境整備事業 妻籠町並み交流センター建設工事 監理業務	吾妻 妻籠	工事監理 一式	9,350	4,670	4,650		30	委託料
令和3年度街並み環境整備事業 妻籠町並み交流センター外構工事 測量設計業務	吾妻 妻籠	測量設計 一式	1,210		910		300	委託料
令和3年度街並み環境整備事業 妻籠町並み交流センター駐車場 測量設計業務	吾妻 妻籠	測量設計 一式	3,630		3,530		100	委託料
令和3年度街並み環境整備事業 妻籠分館取壊工事 実施設計業務	吾妻 妻籠	実施設計 一式	1,430		1,180		250	委託料
合計			222,035	107,870	113,470		695	

事業名	事業箇所	事業量	事業費	左の財源内容				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
街なみ環境整備事業 関連事業関係 令和3年度街並み環境整備事業 妻籠社会教育施設(旧妻籠小学校) 支障木伐採	吾妻 妻籠	桜 一式	99				99	施設修繕費
令和3年度街並み環境整備事業 妻籠社会教育施設(旧妻籠小学校) 貯水池階段撤去工事	吾妻 妻籠	撤去工事 一式	102				102	施設修繕費
令和3年度街並み環境整備事業 妻籠社会教育施設(旧妻籠小学校) 外階段手摺設置工事	吾妻 妻籠	手摺設置 一式	380				380	施設修繕費
合計			581				581	

[別表]

令和3年度生涯学習関係主な建設事業及び補助事業

公民館施設関係

単位：千円

事業名	事業箇所	事業量	事業費	左の財源内容				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
令和3年度 与川・北部・三留野・蘭・広瀬・田立分館 テレビ視聴用配線工事	与川・北部 三留野・蘭 広瀬・田立	配線工事 一式	306				306	施設修繕費
令和3年度 北部・三留野・広瀬分館 誘導灯機器本体更新工事	北部・三留野・広瀬	消防設備更新 一式	330				330	施設修繕費
令和3年度 与川分館外灯更新工事	与川	外灯更新 一式	290				290	施設修繕費
令和3年度 蘭分館フェンス修繕工事	蘭	フェンス設置 一式	158				158	施設修繕費
令和3年度 与川・北部分館庇改修工事	与川・北部	庇改修 一式	5,280				5,280	工事請負費
令和3年度 与川・北部分館庇改修工事 実施設計業務	与川・北部	実施設計 一式	209				209	委託料
令和3年度 与川・北部分館庇改修工事 アスベスト調査業務	与川・北部	調査業務 一式	121				121	委託料
令和3年度 与川・北部分館庇改修工事 工事監理業務	与川・北部	工事監理 一式	149				149	委託料
合 計			6,843				6,843	

南木曾会館関係

単位：千円

事業名	事業箇所	事業量	事業費	左の財源内容				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
令和3年度 南木曾会館外灯更新工事	妻籠	外灯更新 一式	1,058				1,058	施設修繕費
令和3年度 南木曾会館トイレ(照明)LED化工事	妻籠	取替工事 一式	147				147	施設修繕費
合 計			1,205				1,205	

[別表]

令和3年度生涯学習関係主な建設事業及び補助事業

事業名	事業箇所	事業量	事業費	左の財源内容				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
令和3年度 南木曽会館 検温機能付き顔認証リーダー購入	妻籠	体温感知器 2台	216	210			6	備品購入費
合計			216	210			6	

単位：千円

[別表]

令和3年度生涯学習関係主な建設事業及び補助事業

事業名	事業箇所	事業量	事業費	左の財源内容				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
				一般財源				
令和3年度 蘭・田立社会教育施設消防設備更新等工事	蘭・田立	誘導灯 田立 感知器	185				185	施設修繕費
令和3年度 蘭社会教育施設高所窓ガラス修繕工事	蘭	修繕工事 一式	227				227	施設修繕費
令和3年度 旧蘭小学校非常階段塗装工事	蘭	塗装工事 一式	1,233				1,233	施設修繕費 ※R4繰越
合計			1,645				1,645	

単位：千円

事業名	事業箇所	事業量	事業費	左の財源内容				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
				一般財源				
令和3年度 社会体育館高圧コンデンサ取替工事	三留野	取替工事 一式	188				188	施設修繕費
令和3年度 社会体育館誘導灯更新工事	三留野	誘導灯 一式	176				176	施設修繕費
令和3年度 社会体育館照明LED化工事	三留野	事務室・廊下 下足室	341				341	施設修繕費
令和3年度 社会体育館新設フェンス修繕工事	吾妻 蘭	修繕工事 一式	492				492	施設修繕費
合計			1,197				1,197	

単位：千円

5. 児童福祉・子育て家庭等支援活動

(1) 子育て家庭支援関係

①家庭教育学級・町内保育園で地域の親子を対象に例年開催

・令和3年度はコロナ禍で未実施

②放課後子ども教室（子どもプラン推進事業） 県補助金314千円

ア. 開設期間 利用登録者数76名

- ・通常教室 登校日の平日 195日間 下校後～18時30分 子ども教室
- ・夏休み教室 夏休み期間中の平日 14日間 7時45分～18時30分 //
- ・冬休み教室 冬休み期間中の平日 0日間 7時45分～18時30分 //
- ・春休み教室 春休み期間中の平日 12日間 7時45分～18時30分 //
- ・新型コロナウイルス感染症防止対策のための臨時休校中等の閉所 8日間 1月20日～1月31日まで

利用状況（延べ数、単位：人）

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
R3年度	人数	290	158	233	280	221	173	189	226	248	80	150	221	2,469
	日数	21	15	22	20	16	20	20	20	19	8	18	22	221
	日平均	13.81	10.53	10.59	14.0	13.81	8.65	9.45	11.30	13.05	10.0	8.33	10.5	11.17

イ. 運営体制等 コーディネーター：0名、教育活動サポーター：8名
特別支援員（教員）：3名

- ・放課後子ども教室運営委員会 1回 コロナ禍で書面報告
- ・サポーター会議 6回 放課後子ども教室なぎそっこ
- ・保護者説明会等 1回 南木曾会館他

③木曾郡放課後児童連絡会

○令和3年度は郡内の監事として会に参加した。

(2) 児童福祉

①保育所関係

ア. 入所児童数（令和4年3月31日現在）（単位：人、定員の（ ）は未満児）

	読書保育園				蘭保育園				田立保育園				合計
定員	90 (12)				30 (9)				30 (9)				150
入所人員	未満児	3歳	4歳	5歳	未満児	3歳	4歳	5歳	未満児	3歳	4歳	5歳	未満：19 3歳：17 4歳：25 5歳：24
	12	12	11	15	3	2	8	6	4	3	6	3	
計	50				19				16				85

イ. 園児数の推移

年度	人数			人数（予測）			
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
0歳児数	19	23	16	13	20	20	20
1歳児数	15	21	24	16	13	20	20
2歳児数	25	16	22	24	16	13	20
計	59	60	62	53	49	53	60
保育園 年少児数	23	25	17	22	24	16	13
〃 年中児数	18	24	25	17	22	24	16
〃 年長児数	29	18	24	25	17	22	24
計	70	67	66	64	63	62	53

※5年度以降の出生数の20人は総合戦略計画での計画値

ウ. 運営費

(単位:円)

項	目	決算額	比率	備考
歳入	保育料	5,679,300	2.9%	
	国・県補助金	16,884,000	8.5%	
	町負担	139,882,131	70.1%	
	起債	0	0.0%	
	基金繰入金	34,800,000	17.4%	子育て基金
	諸収入	2,238,474	1.1%	
	歳入合計	199,483,905	100.0%	
歳出	保育運営費	137,449,481	68.9%	
	(内人件費相当分)	117,073,333	58.7%	
	施設管理費	7,416,424	3.7%	
	基金積立金	30,000,000	15.0%	子育て基金
	建設改良費	24,618,000	12.3%	
	歳出合計	199,483,905	100.0%	

※国・県補助金の内訳
 電源立地地域対策交付金16,473,000円、第3子以降の保育料減免事業補助金36,000円
 地域材利用促進関係補助金375,000円 計16,884,000円
 ※諸収入は広域入所市町村措置費523,899円、職員給食費1,714,575円 計2,238,474円

エ. 保育料徴収状況

(単位円)

年度	内容	調定額	収入済額	不能欠損額	滞納額	徴収率
3	保育料	5,550,100	5,550,100	0	0	100%
	延長保育料	4,200	4,200	0	0	100%
過年	保育料	227,000	125,000	0	102,000	55.0%
	延長保育料	78,400	0	0	78,400	0%
計		5,859,700	5,679,300	0	180,400	96.9%

オ. 保育所広域入所実施状況

3年度広域入所	項目	人数	金額	備考
	受入れ	4名	523,899円	
	委託	0名	0円	

カ. 通園バス・タクシー運行状況

- <読書保育園>
 - 与川線 (登園) 南木曾観光タクシー (降園) おんたけ交通
 - 北部線 (登園) おんたけ交通 (降園) 南木曾観光タクシー
 - 妻籠・読書線 (登園) 南木曾観光タクシー (降園) 南木曾観光タクシー
- <蘭保育園>
 - 蘭・広瀬線 (登園) 南木曾観光タクシー (降園) 南木曾観光タクシー
- <田立保育園>
 - 田立線 (登園) 南木曾観光タクシー (運行無し) (降園) 南木曾観光タクシー (運行無し)

- ・通園タクシー委託料(教育委員会分) 1,560,000円
 - ・特発バス委託料(保育園交流会) 574,600円
- 上の原線の利用者1名あり。タクシー契約は教育委員会対応で契約。それ以外は、新交通システムで契約。

特発バス委託料は、3園交流会を13回実施した。

キ. 希望保育及び早朝・延長保育について

平成28年度から子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、保育時間については、保育の必要性に応じて保育標準時間(1日11時間)と、保育短時間(1日8時間)に認定(区分)されることになった。

- ・平日 保育標準時間 7時30分から18時30分まで
- 保育短時間 8時30分から16時30分まで

- ・土曜日 保育標準時間 7時30分から12時45分まで（希望保育）
保育短時間 8時30分から12時30分まで（希望保育）

<土曜日希望保育登園実人員状況> (単位：人 () は令和2年度)

保育園名	土曜日	春季	夏季	冬季
読書保育園	1(1)	25(24)	37(31)	14(8)
蘭保育園	2(0)	7(9)	15(15)	4(0)
田立保育園	2(2)	6(10)	15(11)	0(0)
計	5(3)	38(43)	67(57)	18(8)

<延長保育実施状況> (単位：人 () は令和2年度)

保育園名	標準時間認定利用者	短時間認定利用者	短時間認定のうち延長保育利用者
読書保育園	17(11)	33(35)	6(10)
蘭保育園	3(1)	16(17)	1(2)
田立保育園	6(7)	10(12)	0(1)
計	26(19)	59(64)	7(13)

※保育短時間認定の17時00分から18時30分までの利用状況について記載

ク. 保育所審議会（こども園移行準備会）

令和2年度のこども園移行に向けた保護者意向調査及び11月議会でのこども園への移行確認をいただく中で、令和2年11月に、認定こども園移行に伴う準備会を設置した。その後、令和3年2月、3月と準備会を開催し協議内容など確認して、令和3年度から本格的な協議を行った。

※認定こども園移行準備会に関する協議は【別途 資料】のとおり。

ケ. 就学ガイダンス（年中児の保護者対象）令和2年11月19日 南木曾会館

コ. 保育園保護者代表者会議 コロナ禍で中止。資料配布により対応（説明）

サ. 保育園入園説明会 令和3年11月29日 南木曾会館

シ. 南木曾町子ども子育て会議

令和元年に策定した南木曾町子ども子育て支援計画（後期計画）の事業進捗や各種事業の実施状況等を確認等行い、計画内容に対する状況を確認した。

会議では、コロナ禍の影響により計画に位置付けた貧困対策の状況確認や支援を受ける方も周囲からの目が気になることなどの課題等のご意見があり、今後、福祉担当等とも連携し、生活困窮などの状況調査方法等を検討しつつ、有効的な支援が図れるよう検討することとなった。

- ・会議 令和3年2月10日（水）
- ・委員 南木曾町子ども子育て会議委員 全員参加（任期：令和元年度～2年度）

ス. 南木曾町子育て応援給付金給付事業・子育て応援臨時給付金給付事業

- ・3歳以上児の保育料の無償化に伴いこれまで「すこやか子育て支援事業補助金」の制度が不要となったため、これまで支援を行っていなかった1・2歳児を対象として子育て応援給付金の給付事業を令和元年10月から実施している。
- ・令和2年度も継続して1・2歳児を対象として実施した。
- ・休園に伴い加算措置の給食費相当分を園利用の園児の保護者を対象として子育て応援臨時給付金を交付した。

年度	支給対象者数	支払額	備考
3	47	2,292,000	子育て応援給付金

セ. 読書保育園改修工事について

- ・施工業者 木下建設（株）木曾営業所

- ・請負金額 22,770,000円
- ・施工期間 令和3年10月8日～令和4年3月30日
- ・施工内容 プール改修、バス待合所設置、築山（遊具）設置他

ソ. 読書保育園改修工事設計監理業務

- ・施工業者 (株) 鈴木建築設計事務所
- ・請負金額 1,848,000円
- ・施工期間 令和3年5月20日～令和4年3月30日
- ・施工内容 設計監理業務

タ. 緊急災害時降園訓練（例年実施）について

- ・平成23年の東日本大震災を教訓に、平成24年度から各保育園で確実に園児を保護者の方に引き渡し受け渡し訓練を実施している。一斉メール・無線放送を活用。
- ・令和3年度は、6月25日に田立保育園、6月30日に読書保育園、7月2日に蘭保育園で実施した。

チ. 緊急時等の一斉配信システムについて

- ・緊急時一斉配信システム「オクレンジャー」を平成24年度から導入し、保育園からの緊急情報の伝達を行っている。
- ・主な配信内容は、防災訓練情報、園行事情報、不審者情報、感染症等の注意喚起等幅広く活用している。

ツ. 主食・副食代（給食費等）の公費負担について

平成30年10月から主食費を含めすべての給食費すべてを公費負担とした。
令和3年度の給食等の食材購入費は6,773,519円となった。
なお、主食のごはんに合わせ、月に2回程度地元のパン屋より食パンを購入している。

テ. 新型コロナウイルス感染症対策

- <縮小>・園開放：園庭のみ開放とした。
- ・運動会：参観として実施し各家庭2名までの参加。来賓無し。
実施日：読書10月13日(火)、蘭10月14日(水)、田立10月21日(水)
 - ・入園式：入園児童の家庭2名までの参加。来賓無し
 - ・卒園式：読書のみ卒園児保護者各家庭2名までの参加。
蘭、田立は卒園児保護者各家庭2名までの参加。
在園児保護者1名までの参加。いずれも来賓参加

ト. 歩行測定 4歳児、3歳児を対象に歩行姿勢や体づくりの向上を図るため歩行測定を実施

- ・歩行測定実施日：11月10日、11月25日

②子育て支援事業

ア. おやこのひろば

- ・就園前の子どもとその保護者が参加するあそびの場の提供、子育て相談の対応等
- ・総事業費 11,514,770円（うち国庫補助金1,306,000円 県補助金1,306,000円）
- ・開設場所：南木曾会館日本間・ホール 出張ひろばはコロナ禍で中止した。
- ・スタッフ：5名 ※職員1名、臨時職員2名、パート3名で交代（2名以上体制）
- ・開催回数：202回、参加延人数：2,284人（前年2,173人）

イ. 年齢別活動（年齢に応じた遊びや関わり方を学ぶ。）

講座	内容	実施回数	参加者
0歳児	遊びを通して関わり方を楽しむ	10回	219名
1歳児	手・指を使い模倣あそびを楽しむ	10回	158名
2歳児	遊びを通して友達との関わりを楽しむ	10回	170名

ウ. 子育て講座の開催

講座	内容	実施回数	参加者
お話の会	人形劇を通して親子で楽しむ		コロナ禍で中止
子育て講座	子育て相談と子どもへの関わり方	6回	39名
新生児講座	助産師によるベビーマッサージ	4回	12名
運動あそび①	子どもの能力を育てる運動あそび	7回	118名
〃 ②	親子で楽しむヨガ、コア・トレ	0回	0名
リズムあそび	親子で音楽に合わせて動くリトミック	10回	159名
制作あそび	親子でつくるおもちゃづくり		コロナ禍で中止

※ リズム・制作あそびを運動あそび②と内容を変更して実施

エ. 一時預かり事業

1歳から3歳までの未就園児を対象に南木曾会館のおやこのひろばで預かる事業

- ・利用料：500円×53H＝26,500円
- ・延べ人数24名（前年28H：14,000円、10名）

オ. 療育支援事業（遊びの教室）・療育・発達等相談

- ・遊びの教室により、保護者と子ども、支援員と遊びながら子どもの成長を確認して子どもとの関わり方など保護者と一緒確認している。また、子どもの成長過程での保護者の不安や必要な支援について相談に応じている。
- ・巡回療育相談 開催回数：9回、対象児数：23人
 ※障害者総合支援センター「ともに」による県事業
 参加者：言語聴覚士・作業療法士・療育コーディネーター・保健師・保護者等
 内容：言語・集団行動・発達・理解力等について
 対象児：未就園児・園児

カ. 育ちの会ばれっと（障がい児を育てる親の会：会員18名）

- ・定例会と会員による不定期開催。令和3年12月に1回開催し10人参加。
- ・活動内容は、会員相互の親睦、現状・課題・悩み等 会議には保健師が参加

キ. 南木曾町育児ミニ・ファミリー・サポート事業

- ・子育て中の住民が、安心して子どもを育てることができる環境づくりと、仕事と育児の両立、また、児童福祉の向上を図るために実施
- ・提供会員（サポーター）2名 ・依頼会員1名
- ・利用延件数…0件（前年1件）

ク. 南木曾町こどもサポート協議会

- ・児童福祉法第25条の2に規定する要保護児童対策地域協議会として設置。
- ・代表者会議、子ども支援者連絡会、個別ケース会議を開催し、子どもの支援を行う。
- ・会議の運営は、子育て世代包括支援センター（子ども家庭総合支援拠点）の職員が一体的な支援等ができるよう実施している。

○子育て世代包括支援センターの運営と子ども家庭総合支援拠点の設置

- ・令和2年4月1日に町子育て世代包括支援センターを教育委員会事務局内に設置した。また、令和3年4月1日から子ども家庭総合支援拠点の機能も合わせて設置した。
- ・センターでは、子育て支援コーディネーター担当の他、保健師等の連携により子育て中のあらゆる相談に応じるほか、保育園、小・中学校、高校等と連携を図りながら家庭支援を図った。
- ・子ども家庭総合支援拠点では、児童虐待や児童福祉法第25条で位置付けている要保護児童等について、子どもサポート協議会の実務者会議や支援者間ケース会議等で協議し、支援者全体で連携を図りながら支援を実施した。

代表者会議：開催回数1回 コロナ禍での対応として書面協議で実施

内容：児童の状況、巡回療育事業について、子どもの虐待関係について 他

子ども支援者連絡会：開催回数4回 延べ件数：459件

内容：こどもサポート協議会の実務者会議

こどもの現状・課題・今後の方向等の情報共有

個別ケース会議

(単位：回、人()は前年値)

所属	開催回数	対象実人数	延人数
保育園	23 (27)	19 (14)	23 (27)
その他	4 (3)	2 (1)	4 (3)
小学校	47 (30)	14 (21)	30 (36)
中学校	18 (23)	9 (18)	16 (18)
養護学校	3 (5)	2 (2)	3 (5)
高等学校	2 (0)	1 (0)	2 (0)
計	95 (83)	67 (49)	95 (83)

ケ.ブックスタート

- ・乳児と保護者が絵本を通して、豊かな時間を共有し絵本に親しんでもらう為、読み聞かせを行い南木曾会館（おやこのひろば）で贈呈する。（5冊中1冊を対象者が選択）
- ・対象：8カ月児
- ・開催回数：4回、参加延人数：16名

コ.ブックスタート・プラス

- ・令和2年度から2歳児のお子さんを対象に毎月自宅へ絵本を届けるブックスタート・プラス事業を実施しています。令和3年度の対象者は以下のとおり
- ・対象児童 20名（参考）R2：15名

サ.新型コロナウイルス感染症対策

- ・乳幼児の安全を図るため、利用前の検温やアルコール消毒などの徹底により、安心しておやこのひろばや各種事業の利用ができるよう対応した。

③児童遊具事業

- ・遊具の安全管理のため毎年保守点検を行い必要に応じ修繕を実施している。近年は、遊具の老朽化等の課題もあり利用状況を確認しながら必要な整備を図るようにしている。
- ・保守点検：町内児童遊園11箇所、保育所3箇所の保守点検を実施
- ・委託業者：株式会社 三英日体 委託料：209,000円

【別途 資料】

認定こども園に向けた協議事項等

○認定こども園移行準備会

<令和2年度の経過（参考）>

・第1回準備会（令和2年11月20日）

事前検討部会での協議・検討を踏まえて移行準備会を設置した。11月議会での意向確認を得て、事前検討部会での協議を踏まえて移行準備会を設置した。

・第2回準備会（令和3年2月3日）

町の基本方針に基づき、事前検討部会や保護者意向調査内容を踏まえて、協議項目等について意見を交わした。協議項目は、園舎の活用、通園バス、通園バスの添乗員、個別タクシー、未満児受入、保護者会、子育て支援事業の確認をした。

・第3回準備会（令和3年3月15日）

第2回に引き続き次の協議項目の提案をした。協議項目は、園の名称及び決め方、保育料の取扱い、延長料金等の取扱い、給食費等の取扱い、子育て応援給付金制度、地域とのつながり、園舎管理に関することについて提案・協議した。

<令和3年度>

・第4回準備会（令和3年4月23日）

協議項目の確認内容を踏まえ、一定の保護者確認を行って進めることが良いとの意見もあり、これまでの基本項目等の保護者意向調査（中間報告）を行い、今後の協議を進めることとした。また、送迎バス運行と園の名称について協議を行った。次回の協議では、意向調査結果を踏まえてより具体的に協議することとした。

・第5回準備会（令和3年6月30日）

意向調査結果を踏まえて、具体的な内容を確認した。
意向調査（認定こども園への移行に伴う保護者の意向調査アンケート）のとおり。また、結果を踏まえて3園での説明会等を実施することを確認した。

・3園の保護者会と打合せ（令和3年7月16日）

移行結果等を踏まえて、3園の保護者会と説明会等の打合せ
未満児利用について保護者説明会について確認した。

・保護者説明会（令和3年7月20日・21日）

未満児保育を今後利用したい方、現在未満児保育を希望している方を対象に実施した。
また、子育て支援関係についても合わせて意見交換を行った。

・第6回準備会（令和3年8月6日）

これまでの協議項目を確認し、保護者説明会のための基本項目の内容を確認した。
園の名称は、保護者説明会後の確認のうえ公募により確認することとした。

・保護者説明会（8月25日昼夜2回、田立30日、読書31日、蘭9月2日）

保護者の参加状況

地区	世帯数	参加世帯	参加率（%）
読書	56（71）	21（25）	37.5（35.2）
蘭	20（32）	15（27）	75.0（84.4）
田立	20（28）	15（22）	75.0（78.6）
計	97（131）	51（74）	61.9（56.5）

※（ ）の数値は世帯の子ども数

読書地区は園舎を活用していくことで参加者が少なくなったと思われる。また、蘭、田立地区も就園前の方の説明会を実施していることもあり少なかった。

- ・第7回準備会（令和3年11月26日）
保護者説明会の報告、名称募集の結果と選考、こども園設置条例等の確認を行った。
準備会での協議は第7回をもって終了した。
こども園設置条例は12月議会へ上程し、可決となった。

◎認定こども園への移行に伴う保護者の意向調査アンケート
(未満児保育対象と3歳以上児対象)

1 調査対象者

- ①令和4年4月に未満児保育対象となる子どもの保護者
- ②令和4年4月に3歳以上児対象となる子どもの保護者

2 対象者数 99名（未満児対象37名、3歳以上児対象62名）

年齢	田立	読書	蘭	計
0	1	11	2	14
1	6	10	7	23
① 未満児小計	7	21	9	37
2	3	12	6	21
3	5	9	2	16
4	6	11	8	25
② 3歳以上児小計	14	32	16	62
合計	21	53	25	99

3 実施期間 令和3年5月25日～6月4日

◎意向調査アンケート集計① <未満児利用対象者>

◎令和4年4月に未満児利用の対象者（1・2歳児の保護者）

0歳児～1歳児（平成31年4月2日生まれ～令和3年4月1日生まれまで）

Q1 未満児保育を希望しますか（1つお選びください）

園区域	①希望する	②希望しない	未提出	計
読書	14	6	1	21
蘭	6	2	1	9
田立	5	2	0	7
計	25	10	2	37

Q2 未満児保育はどこの園を希望しますか

園	①希望する	②希望しない	未提出	計
読書	14	6	1	21
読書を希望	14	/	/	14
蘭を希望				
田立を希望				
蘭	6	2	1	9
読書を希望	1	/	/	1
蘭を希望	4			4
田立を希望				
検討中	1			1

田立	5	2	0	7
読書を希望	3	/	/	3
蘭を希望				2
田立を希望	2			2
計	25	10	2	37

Q3 Q2の保育園を選んだ理由は何ですか（最も適当な理由を1つお選びください）

選択の理由	①希望する	②希望しない	未提出	計
読書	14	6	1	21
① 少しでも多くの園児がいる所が良いから	1	/	/	1
② 保護者や子どもの友だちと一緒に良いから				
③ 3歳以上児にきょうだいがいるから	2			2
④ 身近な園が良いから	10			10
⑤ その他	1			1
蘭	6	2	1	9
① 少しでも多くの園児がいる所が良いから		/	/	
② 保護者や子どもの友だちと一緒に良いから				
③ 3歳以上児にきょうだいがいるから	2			2
④ 身近な園が良いから	4			4
⑤ その他				
田立	5	2	0	7
① 少しでも多くの園児がいる所が良いから	1	/	/	1
② 保護者や子どもの友だちと一緒に良いから				
③ 3歳以上児にきょうだいがいるから	1			1
④ 身近な園が良いから	2			2
⑤ その他	1			1
計	25	10	2	37

Q4 土曜日保育を希望しますか（希望する場合、利用頻度をお答えください。）

園区域	①希望する			②希望しない	土曜保育 利用無し ・未提出	計
	ア 毎週	イ 月2回程度	ウ 必要な時			
読書	1		5	8	7	21
蘭	1		1	4	3	9
田立			1	4	2	7
計	2		7	16	12	37

◎意向調査アンケート集計② < 3歳以上児対象者 >

◎令和4年4月に3歳以上児の対象者（年少～年長の保護者）
2歳児～4歳児（H28.4.2生まれ～H31.4.1生まれまで）

Q1 こども園の利用コースは何を希望しますか

園区域	コース		未提出	計
	①幼稚園	②保育園		
読書	3	29		32
蘭		16		16
田立	2	12		14
計	5	57	0	62

Q2 幼稚園コースを選択した理由は何ですか（最も適当な理由を1つお選びください）

選択の理由		読書	蘭	田立	計
計		3	0	2	5
	① 子どもと一緒に過ごす時間を大切にしたいから	1			1
	② 仕事の時間と利用時間が合っているから			1	1
	③ 保育に必要な就労証明等が必要ないから	2		1	3
	④ その他				

Q3 保育園コースを選択した理由は何ですか（最も適当な理由を1つお選びください）

選択の理由		読書	蘭	田立	計
計		29	16	12	57
	① 就労時間と園の利用時間があっているから	14	5	8	27
	② 今までと一緒の保育園コースがいいから	9	10	4	23
	③ 少しでも子ども同士で過ごす時間を大切にしたいから	3	1		4
	④ その他	3			3

Q4 土曜日保育を希望しますか（希望する場合、利用頻度をお答えください。）

園区域	①希望する			②希望しない	幼稚園コース・未提出	計
	ア 毎週	イ 月2回程度	ウ 必要な時			
読書	1		14	15	2	32
蘭			2	14	0	16
田立	2		2	9	1	14
計	3		18	38	3	62

Q 5 その他の意見 (未満児利用対象保護者)

安全のため、バスはシートベルトかチャイルドシートを使っていただくか、大人の人(添乗員)を同伴していただきたい。送迎バスの事故はゼロではありません。国道はトラックやスピードを出す車も多いので安全に配慮をお願いしたい。
未満児利用は未定なところもある。
今でもしていただいています、療育関係の支援や相談の機会がより増えるとありがたいです。
子どもたちがのびのびできる環境であってほしい。
子ども一人一人をしっかり見てくれるクラス分け。親が子どもの成長を見れる園イベントの実施
未満児のうちは近くの園だと何かあっても対応がしやすいので近くが良いです。
未満児保育を利用するかまだ考え中ですが、5月の園開放に行ったときに夢中で楽しそうに遊んでいた、普段家ではできない遊びを体験したり、友だちの行動を見たりしているんなことを覚えてくるのが楽しみだなあと思います。
南木曾町は子供達の為にいつも最善を尽くしてくださっていると感じています。保育士の先生方の負担が多くならないように保護者会との連携を取れる環境を作っていきたいと思っています。
土曜日保育を希望した場合はお弁当持ちですか
園開放日などを設けていただき定期的な子ども同士の交流ができるようお願いしたい。一人でも多くの子どもを一か所に集めることで子ども同士の刺激として欲しい。
こども園になることで保育園・幼稚園の両方の良い部分を得られるので良いと思う。町の状況を把握しより良い園になるよう改善していただけたらと思う
産後6カ月経過時から利用できるようにして欲しい。
利用するまでには”こども園”としての形がきちんとされ、様々なことが整っていたら嬉しいです。探り探りだと思えますが保護者としてもできることはさせてもらおうので”こども園”のことをよろしくお願いします。

Q 5 その他の意見 (3歳以上児対象保護者)

初めてのバス通園に大興奮だと思うので、家でも話そうと思いますが、”バスに乗る時の園でのルール”を教えていただける機会があると良いかなと思います。
新しい制度の中で今までと環境・やり方が変わってくる中で、子どもたちにとってそれがプラスになると良いと思っています。楽しく通えるこども園であって欲しいです。
同年代のお友達が増えることで、これまでの縦割り活動に加え、同年代だけで何かに挑戦したり競い合ったり、という活動ができることを期待しています。
子どもが地域の園に通わせてもらっているのと同じように安心して安全に過ごせたらうれしいです。遠足等で自分の住んでいる地域や先生に知ってもらえるような、これまでのつながりを大切にしたいです。
子どもが子供らしくのびのびと生活し成長していくことを願っています。いつもあたたかく見守っていただいて本当に感謝しています。良い部分が変わる事なく更に良いものになっていくことを望みます。
バスに添乗員をつけてほしい
今ある自然と触れ合う遊びも素晴らしいと思います。他に木を使った遊具や木のおうち、全身をつかうアスレチックみたいなものもあると大人も子どももワクワク感が増します。保育園バスをかわいくして欲しい。(子どもたちでペイントするなど)保育園に行くワクワク感。
送迎バスは各バス停でお願いしたい。慣れ親しんだ保育園が代わるので大人が感じている以上に大きな不安があると思います。4月まで交流会など少しでもなれるようにしていただきたい。
働く保護者が預けやすいように登園時間を考慮して欲しいです。早朝・延長保育を田立保育園でもやって欲しい。保育士を増やし土曜日、早朝、延長保育を充実させて欲しい。
保育内容の充実化(外部講師による体操・英語スイミングなど専門指導を受ける)。初めて園を見たとき、保育室が寂しく感じた。誕生表など壁面を飾るなど、子どもが見ても明るくなるような保育室だと嬉しい。服を汚して(水や泥など)帰ってくるので、スモックなどがあるとありがたいかも。通園カバン、通園帽子(園児らしいかわいいから&人数が増えるので統一しても良いのではないか)。こんなに書きましたが、毎日楽しく保育園に通わせてもらっています。いつもありがとうございます。
年度途中で幼稚園コースから保育園コースへ変更は可能ですか
子ども一人一人をしっかり見てくれるクラス分け。親が子どもの成長を見れる園イベントの実施
今はお姉さんお兄さんたちと行動することが多いようですが、こども園になって人数が増え、同じ年の子たちと関わることで、またどんな風に成長するのか楽しみです。

未満児保育を利用していますが、今後保育料・給食費は日割りにするのはどうでしょうか。こども園については実際に入園してみないと分からないこともあると思いますが、子ども同士で沢山成長して行って欲しいと思います。

土曜日保育の場合の給食はどうなるか、お弁当持参か。

送迎バスの乗り場を最寄りのバス停にさせていただきたい。（蘭保育園まではやはり遠いし、今でも最寄りでも降りできたので強くお願いしたい。）”こども園”までの距離が遠いため、頻繁にお迎えなどに行くのが難しいので、園での様子などを連絡帳で教えていただきたい。

通園バスの安全を心配しています。

◎新園の名称募集

町民を対象にこども園の名称を公募し、こども園移行準備会で選考しました。

選考結果により、こども園の名称は「なぎそこども園」として決定しました。

また、なぎそこども園の設置については、11月議会へ上程し、令和4年4月から新たな認定こども園としてスタートすることが決定されました。

公募により寄せられた名称は以下のとおり。

なぎそっこつつじ園、よみかきこども園、なぎそももすけ園、青葉こども園
 なぎそキッツ園、お山のなぎそ園、なぎそっ子園、S L こども園
 なかよしこども園、なぎのここども園、なぎそこども園

◎保育園の閉園式

南木曾町の保育園3園（読書、蘭、田立）は令和4年3月末をもって閉園しました。

閉園式につきましては、下記の日程により卒園式に合わせて実施しました。

令和4年3月24日 9:00～蘭保育園

24日 10:30～田立保育園

25日 9:30～読書保育園

<参考>卒園式・閉園式の内容

卒園式	閉園式
1 卒園児入場	1 はじめのことば（教育長）
2 はじめのことば（主任）	2 お客様のあいさつ（議会議長）
3 町長あいさつ（町長）	3 園児のよびかけ
4 卒園証書の交付	4 閉園宣言（町長）
5 園長のおはなし（園長）	5 おわりのことば（教育長）
6 お客様のおはなし （小学校長、保護者会長）	
7 卒園児の歌	
8 卒園児の退場	
9 おわりのことば	

6. 文化財保護事業

(1) 国・県指定文化財関係

・史跡中山道

(計画策定)

史跡中山道保存活用計画策定委員会

12月7日 第2回史跡中山道保存活用計画策定委員会 南木曾会館

※第3回委員会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止

保存活用計画策定に係る支援業務 2,530千円

(修繕工事) 歴史の道修繕 189千円

・文化財パトロール 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

・特別天然記念物カモシカ滅失・・・0件

(2) 町指定文化財等保護事業

・無形文化財保存活動町補助金 500千円

(与川神楽保存会・田立花馬祭り保存会、田立歌舞伎保存会)

・かぶと観音管理委託 (神戸区) 70千円

・園原家住宅管理委託 (園原氏) 115千円

・修繕工事 妻籠宿案内看板修理工事 209千円

・ 〃 妻籠城跡景観支障木伐採 1,870千円

令和2年度からの繰越事業

・冊子南木曾の文化財 作成 1,430千円

・冊子妻籠宿Ⅳ 作成 547千円

(3) 文化財保護審議会関係

・例年5月に開催されてきた郡文化財保護連絡会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。同日に開催している町文化財保護審議会についても中止となった。

(4) 埋蔵文化財

・工事に伴う埋蔵文化財の問い合わせ確認 (随時)

・公共事業等に係る埋蔵文化財等の保護協議調査の実施

(5) 調査、記録等

①木曾林業資料調査

資料館及び旧田立小学校の林業資料を調査・資料整理し、県文化財保護審議会へ資料を送付済みである。木曾郡内他町村の整理を待って県文化財へ登録申請を行う予定であったが、県より南木曾町単独での登録を進めるよう進言があった。今後、県有形民俗文化財(林業資料)への登録申請について検討する。

②日本遺産関係

6月24日 第1回木曾地域文化遺産活性化委員会

第1回日本遺産紹介冊子作製部会

7月15日 令和3年度木曾地域文化遺産活性化協議会総会

12月8日 第2回日本遺産紹介冊子部会

1月21日 第2回木曾地域文化遺産活性化委員会（書面会議）

3月13日 日本遺産PR事業

③南木曾の文化財（令和2年度繰越事業）

南木曾町内の文化財を1冊にまとめた冊子を発行し、全戸配布を行った。

④妻籠宿IV（令和2年度繰越事業）

平成22年度～令和2年度までの妻籠宿保存事業の記録をまとめた冊子を発行した。

⑤桃介橋補修工事

建設係により桃介橋主塔の補修工事を行った。令和2年度に2塔補修、令和3年度に残りの1塔を補修した。

（6）関係団体等

- ・全国史跡整備市町村協議会
- ・史跡整備等長野県市町村協議会（理事）
- ・長野県史料保存活用連絡協議会（理事）
- ・全国近代化遺産活用連絡協議会

（7）街なみ環境整備事業

- ・妻籠地区防災施設設計委託 10,516千円

南木曾町の文化財

令和4年3月現在

国	重伝建	妻籠宿保存地区	町	有形文化財	川向の聖観音像と厨子	町	史跡	大崖砂防堰堤
国	史跡	中山道	町	有形文化財	熊谷家住宅	町	史跡	与川渡の石地藏
国	重文	柿其水路橋	町	有形文化財	木地師の家	町	史跡	園原先生碑
国	重文	桃介橋	町	有形文化財	光徳寺薬師如来勸進帳	町	名勝	木曾八景与川の秋月
国	重文	読書発電所	町	有形文化財	光徳寺大般若経	町	名勝	旧中山道男滝女滝
国	重文	林家住宅	町	有形文化財	問屋申付状	町	名勝	鯉岩
国	選定保存技術	屋根板制作	町	有形文化財	奥谷家普請関係文書	町	天然記念物	与川白山神社の大杉（2本）
県	県宝	藤原家住宅	町	有形文化財	木曾妻籠宿書留	町	天然記念物	和合の枝垂梅
県	県宝	旧御料局名古屋文庫妻籠出張所庁舎	町	有形文化財	南野家住宅	町	天然記念物	三留野本陣の枝垂梅
県	県宝	園原家住宅	町	有形文化財	太田垣外遺跡の琥珀大珠	町	天然記念物	与川白山神社の社叢
県	名勝	田立の滝	町	有形文化財	蘭の観音堂	町	天然記念物	柿其八幡様のアカシデと社叢
県	無形民俗文化財	田立の花馬祭り	町	有形文化財	養気荘（旧瀧家別荘）	町	天然記念物	天白のツツジ群落
県	天然記念物	妻籠のギンモクセイ	町	無形文化財	田立歌舞伎	町	天然記念物	和合のアラガシ
県	史跡	妻籠城跡（つまごじょうあと）	町	無形民俗文化財	与川の神楽獅子	町	天然記念物	一石柅の枝垂桜
町	有形文化財	聖観音像（円空仏）	町	無形民俗文化財	蘭のさいとろさし	町	天然記念物	楨平のガヤの木
町	有形文化財	韋駄天像（円空仏）	町	無形民俗文化財	大黒踊	町	天然記念物	八剣神社の大杉
町	有形文化財	弁財天十五童子像（円空仏）	町	無形民俗文化財	田立の刺捕差	町	天然記念物	坪川の銀杏
町	有形文化財	天神像（円空仏）	町	無形民俗文化財	大鍬大明神祭り	町	保存技術	田立の和紙製造技術
町	有形文化財	上嵯峨屋	町	無形民俗文化財	百万遍念仏			
町	有形文化財	下嵯峨屋	町	史跡	石柱道標			
町	有形文化財	沼田の五輪塔	町	史跡	柵形の跡			
町	有形文化財	光徳寺の車付駕籠	町	史跡	上久保の一里塚			
町	有形文化財	城坂峠の宝篋印塔	町	史跡	かぶと観音			

7. 妻籠宿保存事業

(1) 妻籠宿保存事業

①妻籠宿保存地区保存審議会

保存審議会の開催

2月18日 第1回審議会

審議事項：①町道中山道・妻籠町中線舗装工事について

②地蔵沢堰堤工事について

③重伝建事業補助率の見直しについて

②現状変更行為許可申請

・申請 87件 (承認85件 [条件付承認4件 要望3件] 保留1件 対象外1件)

・統制委員会への出席 (オブザーバー)

4月20日、5月20日、6月21日、7月20日、8月20日、9月21日、10月20日、
11月22日、12月20日、1月20日、2月21日、3月22日

・事務処理及び審議事務の委託 (公財)妻籠を愛する会 842千円

③妻籠宿保存地区保存基金寄付金

令和3年度実績

寄付0件

令和3年度末積立額

5,717,763円

④保存地区内公開家屋の管理委託先

・上嵯峨屋

寺下区

・下嵯峨屋

嵯峨 幸子氏

・馬屋

嵯峨 幸子氏

・熊谷家

原 久恵氏

・大妻籠交流施設

藤原 勲氏

・恋野口留番所跡

恋野区

・ふれあい館

指定管理者制度により(一般社団法人)南木曾町観光協会が管理 (R3～R7年度)

・下町旧櫻井家無料休憩所 下町区

⑤全国、関連組織との連携

・全国伝統的建造物群保存地区協議会関係

6月23日 第1回役員会議案 可決 (新型コロナウイルス感染症の影響により書面決議)

7月19日 総会議案 可決 (新型コロナウイルス感染症の影響により書面決議)

11月18日 第2回役員会議案 可決

・全国町並み保存連盟

11月12～13日 第44回全国町並みゼミ奈良大会 奈良県

※新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン併用開催となった。

・歴史的景観都市協議会

11月26日 総会 新型コロナウイルス感染症の影響によりWeb開催

(2) 重要伝統的建造物群保存地区保存事業

①重要文化財林家住宅主屋及び侍門保存修理工事

・林家（奥谷）の主屋3階の壁と侍門の修理等 ※令和4年度へ繰越

②保存修理事業（国県町補助事業、事業主体は町）

・伊藤正博宅主屋（大妻籠） 屋根葺替（ガリバリウム鋼板）、堰板、張出部梁補強等

※令和4年度へ繰越

③小規模修理事業補助金（町単）

・鈴木富子宅 主屋（寺下）	雨戸・玄関壁・敷居修理
・松下高代宅 土蔵（上町）	土蔵壁修理
・代田弘輔宅 主屋（寺下）	外壁修理
・（社）南木曾町社会福祉協議会 宅老所（恋野）	塀修理
・松井康子宅 主屋（上町）	塀・雨樋修理
・小笠原美雪宅 主屋（下町）	堰板修理
・久場勝宅 店舗（下町）	屋根・棟修理
・西尾千賀子宅 主屋（中町）	雨樋修理

④文化庁建造物課調査官ならびに県教育委員会による現地指導

新型コロナウイルス感染症の影響により中止

⑤妻籠宿重伝建保存事業の今後のあり方についての検討

6月5日 妻籠地域振興協議会で説明・協議

8月10日 妻籠地区内における保存事業のあり方に関する住民説明会

9月25日 町議会全員協議会で協議

11月9日 町議会全員協議会で協議

妻籠宿重伝建保存事業補助については、個人負担1割とし駐車場会計収益から補助金を支出していたが、令和4年度から個人負担2割・一般会計から町補助金を直接投入することに対し、地元・議会より同意を得ることができた。令和4年度より保存家屋の修理修景工事を計画的に進める。

(3) その他保存事業関連

世界文化遺産関係

暫定一覧表候補案件であるが、文化庁で暫定案件の処理が優先されているため、今年度については特記する活動はなかった。

[別表]

文化財保護関係 主な建設関係事業及び補助事業

(単位：千円)

事業名	事業個所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
歴史の道整備事業 (史跡中山道保存活用事業)	杵形・与川他 町内	石畳補修工事・支障木伐採 保存活用計画策定	189 2,530 2,719	0 1,260 1,260	0 0 0	0 0 0	0 0 0	189 1,270 1,459	
計									
地域伝統芸能等保存事業	田立花馬祭り保存会他	保存・継承活動支援事業 (無形文化財保存活動町補助金)	500	0	0	0	0	500	
計			500	0	0	0	0	500	
街なみ環境整備事業	妻籠宿周辺地区	防災施設設計業務	10,516	5,200	0	5,300	0	16	
計			10,516	5,200	0	5,300	0	16	
重要伝統的建造物群 保存修理事業 (工事費、設計費込)	伊藤正博宅 (令和4年度～繰越)	板屋根葺替、堰板、張出部梁補強等	6,655	3,921	180	0	666	1,888	一般財源：駐車 場会計から繰入 1割自己負担
計	1件	事務費	44	0	0	0	0	44	
計			6,699	3,921	180	0	666	1,932	
小規模修理事業補助金	鈴木富子宅主屋(寺下)	雨戸・玄関壁・敷居修理	89	0	0	0	63	26	補助率 3/10
	松下高代宅土蔵(上町)	土蔵壁修理	424	0	0	0	170	254	補助率 6/10
	代田弘輔宅主屋(寺下)	外壁修理	50	0	0	0	35	15	補助率 3/10
	(社)南木曾社協宅老所(徳野)	塀修理	495	0	0	0	198	297	補助率 6/10
	松井康子宅主屋(上町)	塀・雨樋修理	495	0	0	0	198	297	補助率 6/10
	小笠原雪宅主屋(下町)	堰板修理	321	0	0	0	225	96	補助率 3/10
	久場勝宅店舗(下町)	屋根・棟修理	495	0	0	0	347	148	補助率 3/10
	西尾千賀子宅主屋(中町)	雨樋修理	396	0	0	0	278	118	補助率 3/10
計	8件		2,765	0	0	0	1,514	1,251	

(単位：千円)

事業名	事業箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
重要文化財林家住宅修理工事補助金(博物館一般運営費)	林家住宅(奥谷)修理補助(令和4年度～繰越)	侍門、3階壁	6,413	4,489	320	0	320	1,284	5%自己負担
計	1件		6,413	4,489	320	0	320	1,284	

文化財災害復旧事業	下り谷	法面崩落土砂撤去	70	0	0	0	0	70	R 3. 5. 21 R 3. 8. 14 発生災害
	男滝・女滝遊歩道	手摺	33	0	0	0	0	33	
	下り谷	丸太柵復旧	191	0	0	0	0	191	
	一石栃歩道	洗堀	184	0	0	0	0	184	
	与川歴史の道	望月宅裏：法面崩落応急復旧	77	0	0	0	0	77	
	与川歴史の道	望月宅裏：木柵・植生マット等	2,015	0	0	0	0	2,015	
	歴史の道(橋場)	木柵・植生マット・転石積等	1,496	0	0	0	0	1,496	
	中山道 一石	路肩復旧・木橋復旧・洗堀等	1,362	0	0	0	0	1,362	
	一石栃 支障木伐採	倒壊松伐採	284	0	0	0	0	284	
	中山道 与川阿征坂	地滑り・県対応範囲外応急復旧	495	0	0	0	0	495	
計	10件		6,207	0	0	0	0	6,207	

8. 南木曾町博物館関係

(1) 職員体制及び入館実績

①職員 館長、係長、主査、計3名（文化財町並係兼務）

②名誉館長1人 フルタイム会計年度職員3人 パートタイム会計年度職員8人

③3年度入館者数 (人)

月	人数	月	人数	月	人数	月	人数	
4	1,262	7	1,148	10	2,480	1	262	
5	1,344	8	1,162	11	2,877	2	0	
6	712	9	1,081	12	697	3	707	
							計	13,732

(前年度比 年間で95人増)

新型コロナウイルス感染症の影響により、例年に比べ大幅に来館者が減少している。

(2) 博物館運営協議会関係

3月11日開催 博物館会議室

- 協議事項
- ・経営体制について
 - ・博物館入館者の推移について
 - ・博物館活動について など

(3) 特別展の開催について

土雛展 令和3年2月25日(木)～令和3年5月13日(木)

(4) 博物館関係の主な活動等

①活動一般

- 5月9日 NBS ニュース TV番組撮影
- 8月30日 上田市街中演劇祭実行委員会 「夜明け前」取材
- 9月15日 文化庁作成の日本遺産関係ホームページ取材
- 9月17日 mont-bell「岳人」取材
- 10月27日 NHK 国際放送撮影
- 10月29日 JRと木曾観光連盟によるプロモーション事業取材
- 11月7日 NBS 長野放送 日本遺産関係番組撮影
- 11月29日 学研プラス 「日本の歴史シリーズ」取材
- 12月21日 市民タイムス取材
- 12月24日 中日新聞取材
- 1月11日 SBC 特番撮影
- 1月19日 名古屋市観光推進課 インバウンド向けPR動画撮影

②教育関係

- 4月23日 名古屋市南山高校女子部 71名
- 4月30日 塩尻市田川高校 4名
- 6月22日 東大附属中学校2学年 115名
- 7月15日 多治見市平和中学校 53名
- 10月7日 長野市篠ノ井東中学校 24名

10月9日	上田市代田久保中学校	71名
10月14日	飯田市竜東中学校	14名
10月20日	多治見市南姫中学校	38名
10月26日	東大附属中学校 1 学年	117名
10月29日	大町南小学校	39名
10月30日	名城大学	24名
11月1日	阿智中学校 28名 小谷小学校 19名	
11月2日	阿智中学校 26名 栄村中学校 9名	
11月9日	売木中学校	5名
11月22日	名古屋市南山高校男子部	173名
11月27日	山梨大学	25名
11月29日	筑北中学校	18名
12月1日	横浜市公文国際学園中等部	29名

③事業協力

- ・信州ハイウェイ周遊キャンペーン優待協力
- ・伊那路・木曾路ハイウェイキャンペーン優待協力
- ・阿智昼神観光局主催ツアー星パッケージプラン
- ・南信州観光連携プロジェクト会議「物味湯産手形」発行協力
- ・(公財) 日本ナショナルトラスト会員優待施設協力
- ・八十二財団友の会優待協力
- ・JR 東海「木曾路フリーキップ」優待協力
- ・長久手市「南木曾町内施設利用優待」協力
- ・JR 東海ツアーズ日帰りフリープラン優待協力
- ・各種旅行情報誌等への情報掲載
- ・各旅行社へのパンフレット送付

(5) 視察、研修会受入

- ・10月13日 木曾郡 JA 女子部研修会 20名

(6) 博物館施設設備関係の維持修繕関係 (50 千円以上の修繕)

- | | |
|--------------------|-------|
| ・脇本陣奥谷囲炉裏の間畳張替え | 198千円 |
| ・脇本陣奥池ポンプ修繕 | 75千円 |
| ・資料館エレベータ地下ピット排水作業 | 53千円 |
| ・本陣受付エアコン修繕 | 83千円 |
| ・本陣入口横板塀屋根修繕 | 138千円 |
| ・本陣板間照明設置 | 92千円 |

(7) 新型コロナウイルス感染症対策

- ・8月28日から9月30日まで公開範囲制限
- ・1月22日から3月6日まで臨時休館
- ・入館前の消毒・検温・連絡先記入
- ・三密を避けるため見学エリアの制限
- ・脇本陣奥谷での写真撮影の制限

(8) 南木曾町博物館の収支の状況

収 入

単位：円

項 目	令和3年度決算額	備 考
使用料及び手数料	7,411,567	
雑入	102,200	
収入計	7,513,767	(対前年比 2.2%減)

支 出

単位：円

項 目	令和3年度決算額	備 考	
博物館一般運営費	報酬	8,614,135	パートタイム会計年度職員報酬
	給料	6,735,243	フルタイム会計年度職員給料
	職員手当	1,604,136	パートタイム会計年度職員手当
		1,696,624	フルタイム会計年度職員手当
	旅費	296,061	パートタイム会計年度職員通勤費用弁償
	報償費	750,800	奥谷管理・博物館美化活動
	需用費	4,273,148	消耗品・燃料費・食糧費・印刷製本費 電気・ガス・水道・一般修繕・賄材料費
	役務費	810,524	電話料・火災保険料・入館者保険料
	委託料	2,307,697	警備委託料・清掃委託料 保守点検委託料
	使用料及び賃借料	2,950,503	自動車借り上げ料・脇本陣賃借料 下水道使用料・ケーブルテレビ使用料
	備品購入費	137,830	事務室PC、草刈機
	負担金及び交付金	5,000	JTB中部圏誘致協議会
	小 計	30,181,701	(対前年比 1.5%増)
博物館一般活動費	報 酬	16,000	委員報酬
	報償費	0	
	旅 費	10,885	
	需用費	0	食糧費
	役務費	3,000	宣伝費
	備品購入費	0	
	負担金及び交付金	11,000	県博物館協議会等 負担金
小 計	40,885	(対前年比 1.5%減)	
臨時職員共済費	共済費	1,698,159	社会保険料 (対前年比 6.4%増)
博物館一般人件費	職員手当等	520,896	退職手当負担金 (対前年比 3.7%減)
支出計	32,441,641	(対前年比 1.8%減)	

収入

支出

7,513,767 - 32,441,641 = △ 24,927,874

